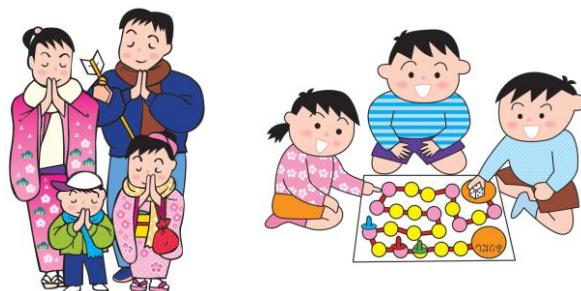


校長室だより

1月号

あけまして
おめでとう
ございます



近くのお寺の除夜の鐘とともに遠くマリーナシティからカウントダウン花火の音が聞こえてきて、「年越し」を感覚で感じました。寒さが一段と増し、冬の厳しさを痛感しています。2学期終業式で、子供たちの「がんばり」を大いに褒めてあげて、時間がなくなるほどの「表彰式」を行いました。子供たちの達成感、満足感、嬉しそうな表情は輝いていました。褒めてあげることは我々教員にとってとても喜ばしいことですし、褒められた子供たちはこの上ない自信を手にしたと思います。個々にがんばったこと、表彰された「紙（表彰状）の中身」は異なりますが、自分が頑張った！と感じていることを褒めてもらうことほど次への意欲・ステップにつながることはないと思っています。もちろん失敗もありながら、最後には達成できた満足感を与えていただいた関係者の皆様方（事業所や学校関係者の方々）、近隣自治会の方々、そして保護者の皆様方に深く感謝します。

そして3学期が始まりました。始業式で、子供たちと約束やお願いをしました。何より健康で安全に、そして生活リズムを整えて楽しく毎日朝から登校してほしいと願っています。勉強はもちろん大事ですが、同じくらい挨拶や人への優しさ、感謝の気持ちを忘れずに学校生活、社会生活を送ることを約束しました。

「感謝」といえば、過日1月5日（日）午後に和歌山市で新たに二十歳になる方々の門出を祝う「はたちのつどい」が開かれました。和歌山市に住民票のある対象者は3,163人との報道がありました。それに合わせて本校でも5日10時30分から「ふよう会」主催で「はたちを祝う会」を開催しました。2年前に本校を卒業した9名全員が出席。保護者の方々や同窓生、在校生、育友会、教職員多数が集まり、思い思いの衣装を身にまとった、立派になった二十歳の方々が、近況や学生時代を懐かしく語り合っていました。本当におめでとうございます。保護者の方々も感慨深いものがありかと存じます。

